

国分寺学 授業実践モデル 第2学年

1 単元名

総合的な学習の時間「国分寺みらい科」（全 10 時間扱い）

2 単元の目標

- ・国分寺市のプラスチックごみの問題について知り、自らの興味・関心に応じて調べ、探求していくことを通して、自ら課題を見つけ改善に向けた具体策を考える。
- ・課題の解決に向けて、他者の意見と比較し、互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、積極的に具体的な取組を立案する。
- ・課題を確認し、改善に向けた関係機関に向けた提言や自ら改善に参画する。

3 本単元で育成を目指す資質・能力

【課】課題解決力	【コ】コミュニケーション力 協働力	【社】社会参画力
自らの興味・関心に応じて調べ、探求していくことを通して、自ら課題を見つけ改善に向けた具体策を考える。	課題の解決に向けて、他者の意見と比較し、互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、積極的に具体的な取組を立案する。	実際に地域に出て課題を確認し、関係機関への提言や改善に向けた取組に自ら参画する。

4 単元の指導計画と評価計画（全 10 時間）

時	学習 過程	◆目標 ○学習内容	単元で育成を目指す 資質・能力			地域資源 との関連
			【課】	【コ】	【社】	
1 ～ 2	課題 設定	◆国分寺市のプラスチックごみの問題を知り、プラスチックごみに関する基本的な知識を深める。 ○国分寺市のごみ処理場の方の話を聞く。	○			①
3 ～ 4	情報 収集	◆世界のプラスチックのリサイクルの現状を学び、国分寺市や自分たちでできることがないか考える。 ○プラスチックリサイクルクイズに取り組む。 ○国分寺市の問題と照らし合わせ、自分たちでできることを考える。	○	○		
5 ～ 8	整理 分析	◆各自が考えた課題をグループで共有し、課題解決する工夫を考えたり、調べたりして、考えをまとめる。 ○グループで話し合い、意見をまとめてプレゼンテーション資料を作成する。		○	○	
9 ～ 10	発信 ・ 実行	◆クラス発表から学年発表を通して、 ○グループでまとめたプレゼンテーション資料をもとにクラス内で発表する。 ○各クラスの代表が学年・保護者・地域の方の前で発表する。			○	②

その他（教科等横断的な取組、関連単元や教科 等）

社会「日本の諸地域」…九州の環境(公害問題)について学ぶ。

5 本時（全 10 時間中の第 5 時）

（1）本時の目標

各自が考えた課題をグループで共有し、課題解決する工夫を考えたり、調べたりして考えをまとめる。

（2）本時の展開

	時間	○学習内容 ・予想される児童の反応	・指導上の留意点 配慮事項	評価規準 【】 関連する資質・能力
導入	5 分	○学習のめあてと流れのポイントを確認する。	・ 本時の学習のめあてと流れのポイントをワークシートに照らし合わせて説明する。	
展開	35 分	○グループ内で順番に各自で考えた課題解決する工夫を発表する。 ○班としてどのようにまとめるかを箇条書きにしたものを利用して話し合う。 ○プレゼンテーション資料(パワーポイント)を作成する役割分担を決める。	・ 発表されたことをただ聞くのではなく、ワークシート内にある欄を利用して箇条書きをさせる。 ・ 一人一人に役割があるかを確認する。	☆課題についてまとめたことを、分かりやすく説明している。【課】 ☆課題の解決に向けて、他者の意見と比較し、互いの立場や考えを尊重しながら話し合っている。【コ】
まとめ	5 分	○次時の予定「プレゼンテーション作成の時間数や日程」について周知する。		

6 地域にある様々な資源と活用することで期待される効果

（人材、協力者、公共機関、民間企業、施設、団体 等）

番号	人材、協力者、公共機関、 民間企業、施設、団体 等	活用することで期待される効果
①	国分寺市ごみ処理場職員	国分寺市のプラスチックごみの現状について知ることができる。
②	保護者・地域の方々	自分たちが考えたことを校内だけでなく、校外へ発信することによって、自分たちの取り組みが地域貢献へとつながっていく意識を高めることができる。